

【県指定・天然記念物】

おおすみいし 大隅石（オオスミライト）標本

（令和3年4月23日指定）



○ 所在地 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

○ 所有者 鹿児島県

○ 特 徴

姶良カルデラの外輪山周辺に分布する流紋岩（噴出年代4万年～3万年前）の割れ目などに黒っぽい2～3mmの大きさの鉱物が見つかることがあります。この鉱物は、桜島と大隅半島の付け根の部分である垂水市早崎において世界で最初に発見されたことから、「大隅石（オオスミライト）」と命名されました。「おおすみ」の名前が付けられ登録された貴重な鉱物です。

大規模な火碎流が起こった姶良カルデラの最後の噴火は約2万9千年前とされており、それよりも前に噴出した流紋岩に含まれる「大隅石（オオスミライト）」は、カルデラ形成を伴う大噴火のメカニズムを解明する上でも極めて貴重な文化財です。

※カルデラ→巨大な噴火により大量のマグマが噴き出し、地下が空っぽになり、地面が落ちたことでできる大きな穴のことです。姶良カルデラに海水が入り込み、錦江湾（湾奥部）が誕生しました。